

2025-11-05

今回のアップデート内容を以下に示します。

1. アップデート内容

Microsoft 社より、Microsoft Teams (以下「Teams」と称する) の通知連携に使用されている Incoming Webhook コネクタのサービスが、2025 年 12 月 31 日 (水) をもって終了することが発表されました。これに伴い、App Bridge における Incoming Webhook コネクタを利用した Teams 通知サービスは、2025 年 12 月 22 日 (月) をもって終了させていただきます。

今後も Teams 通知をご利用いただくためには、「Teams Workflows」への移行が必要となります。その準備として、2025 年 11 月 27 日 (木) にセンターのメンテナンスを実施いたします。

メンテナンス後は、新規の Incoming Webhook アドレスによる登録ができなくなりますので、あらかじめご了承ください。引き続き Teams 通知をご利用いただく場合は、メンテナンス後に Teams Workflows への新たな設定が必要となります。

つきましては、以下の対応をお願いいたします。

2. ご依頼事項

メンテナンス後、引き続き Teams 通知をご利用いただく場合は、以下の対応が必要です。

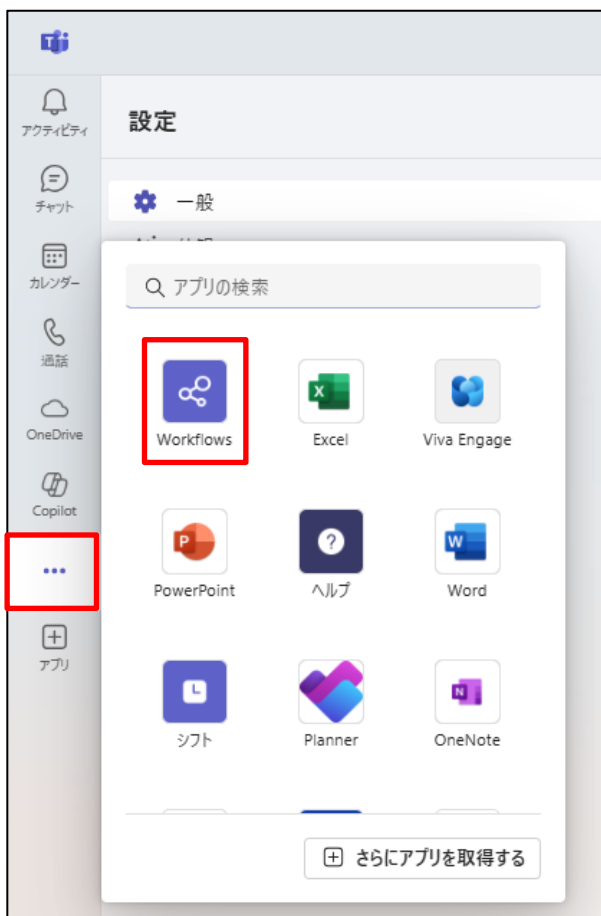
- (1) Workflows フロー作成
- (2) Microsoft Teams 連携設定の追加
- (3) 既存の Incoming Webhook を利用した Microsoft Teams 連携設定の削除

また、Teams 通知をしない場合においても、設定が残っている場合は (3) のご対応をお願いいたします。設定変更手順を以下に示します。

(1) Workflows フロー作成

Microsoft Teams 連携を実施するには、Workflows でフローを作成する必要があります。作成手順は、マイクロソフトの Web サイト [Microsoft Teams のワークフローを使用して受信 Webhook を作成する - Microsoft サポート](#) を参照して下さい。Workflows のフロー作成手順の概要は以下のとおりです。

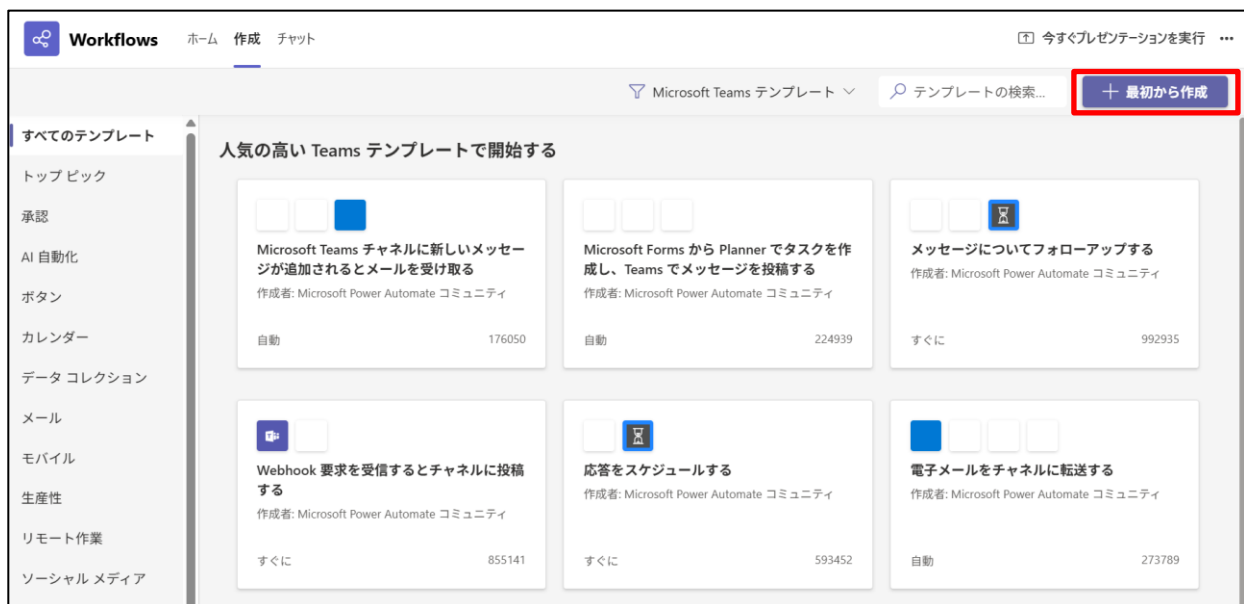
メニューバーから [...] → [Workflows] を選択します。



表示された画面で、[新しいフロー] を選択します



表示された画面で、「最初から作成」を選択します。



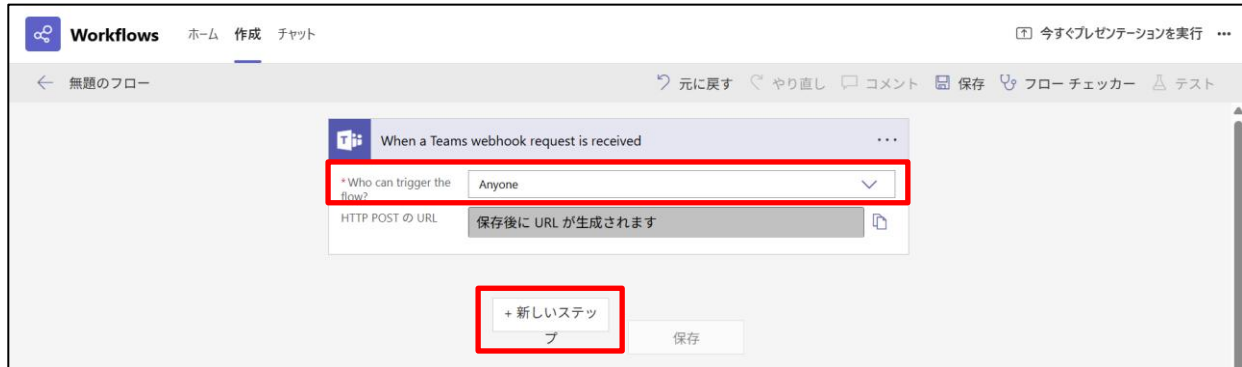
表示された画面の検索欄で「webhook」で検索し、「Microsoft Teams Webhook」を選択します。



表示された画面で、「Teams Webhook 要求を受信したとき」を選択します。

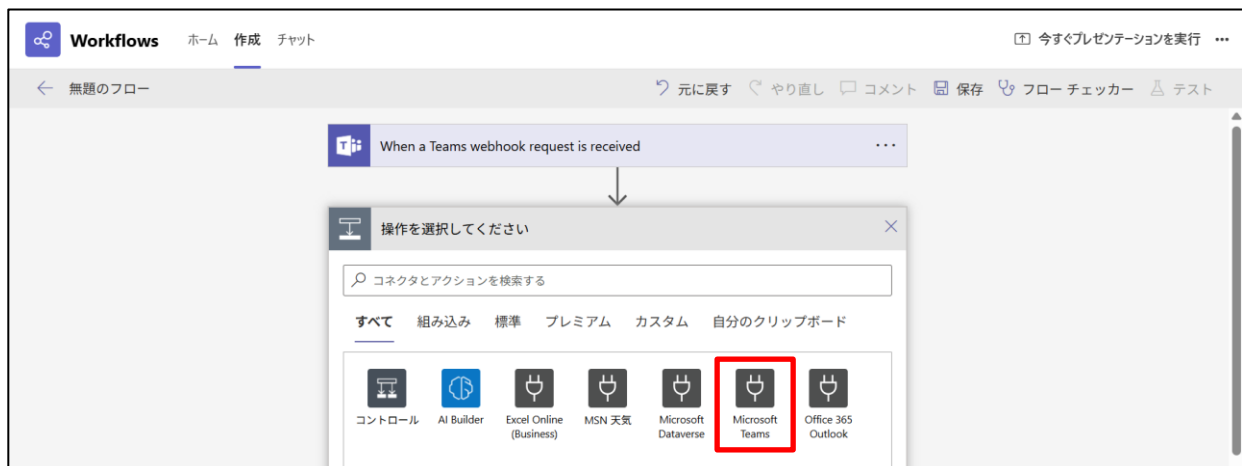


表示された画面の「Who can trigger the flow?」を「Anyone」とし、[新しいステップ] を選択します。

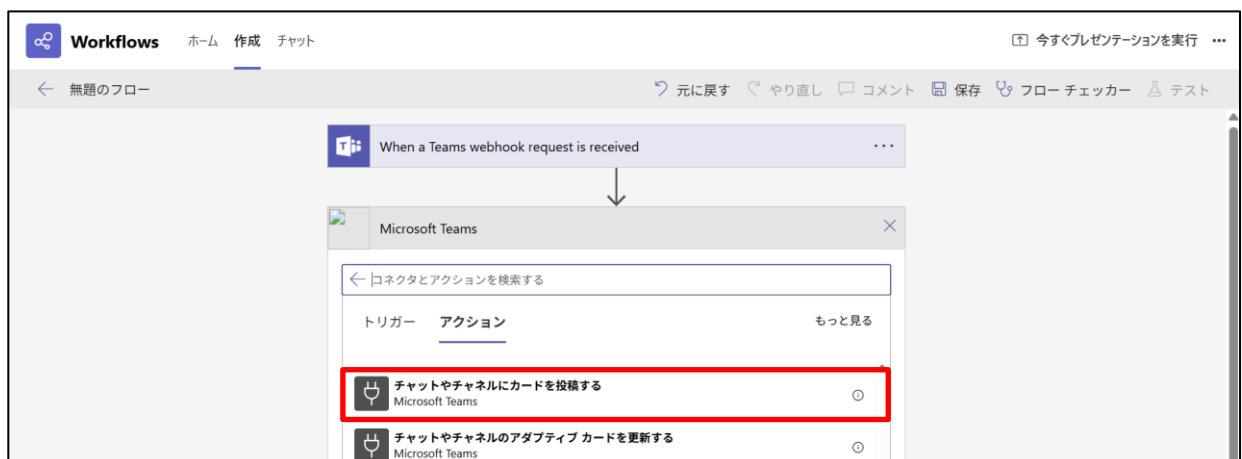


表示された画面で、[Microsoft Teams] を選択します。

表示されていない場合は検索欄で「Microsoft Teams」を検索して下さい。



表示された画面のアクション欄から、[チャットやチャンネルにカードを投稿する] を選択します。



表示された画面で、必要事項を指定します。

Workflows ホーム 作成 チャット

今すぐプレゼンテーションを実行 ...

← 無題のフロー

元に戻す やり直し コメント 保存 フロー チェッカー テスト

When a Teams webhook request is received

チャットやチャンネルにカードを投稿する

* 投稿者 フロー ボット

* 投稿先 チャンネル

* チーム

* チャンネル

* アダプティブ カード ここにアダプティブ カードの json を挿入します

詳細オプションを表示する

+ 新しいステップ

保存

Workflows ホーム 作成 チャット

今すぐプレゼンテーションを実行 ...

← 無題のフロー

元に戻す やり直し コメント 保存 フロー チェッカー テスト

* チャンネル

* アダプティブ カード ここにアダプティブカードのjsonを挿入します

動的なコンテンツの追加

詳細オプションを表示する

+ 新しいステップ

保存

このフローで使用するアプリやコネクタから動的 非表示
なコンテンツを追加します。

動的なコンテンツ 式

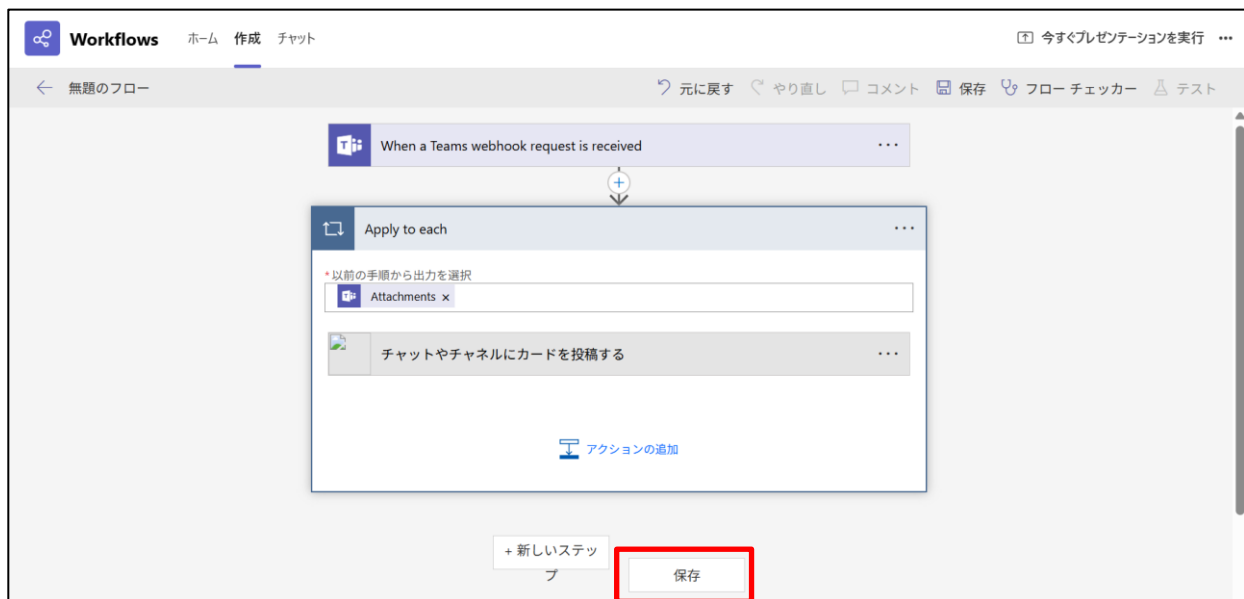
動的なコンテンツの検索

When a Teams webhook request is received

Adaptive Card
Adaptive cards sent to incoming webhook trigger in JSON fo...

設定項目	設定内容	備考
投稿者	フローボット	
投稿先	チャンネル	
チーム	通知先のチーム	通知するチームを指定します
チャンネル	通知先のチャンネル	指定したチームのチャンネルを指定します
アダプティブカード	Adaptive Card	アダプティブカード欄を選択すると、動的なコンテンツが表示されますので、[Adaptive Card]を選択します

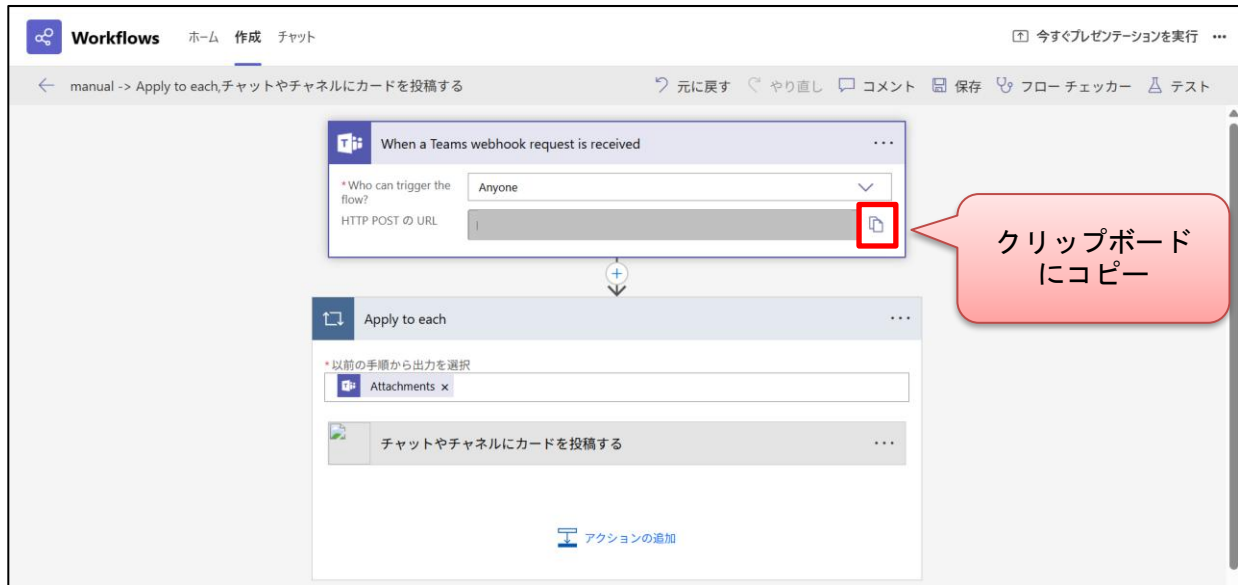
表示された画面で、[保存] を選択します。



保存されたら、[When a Teams webhook request is received]を選択します。



表示された URL をクリップボードにコピーします。クリップボードにコピーした URL は、後述の通知先アドレスで使います。



(2) Microsoft Teams 連携設定の追加

通知先を設定するためには、＜メインメニュー/監視設定/ノード一覧＞の[標準通知先]をクリックします。

オーナ基本設定 | エラー判定条件 | カスタム監視 | 抑止条件 | 通知振分条件 | **標準通知先** | 電話通知先 | 監視照会

Menu > ノード一覧

ノードCD(前方一致) 検索

ノードCD	ノード名	種類	スケーリング制御
WS1	Windowsサーバ1号機	 Windows (Amazon EC2)	☐

Microsoft Teams 連携設定する[標準通知先コード]をクリックします。

Menu > ノード一覧 > 標準通知先一覧

追加

コード	通知先名	有効/無効
_DEFAULT	Default Mail Address	有効

通知先アドレスを追加するため、[指定アドレスを通知先に追加]をクリックします。

Menu > 標準通知先 > 標準通知先詳細

変更 削除

標準通知先コード	_DEFAULT					
標準通知先名	Default Mail Address					
有効/無効	有効					

ユーザ通知先 登録ユーザを通知先に追加

	ユーザCD	ユーザ名	メールアドレス	種別	有効/無効	メッセージ通知電
編集				To	有効	有効
編集				To	有効	有効

オンデマンド通知先 指定アドレスを通知先に追加

	通知先アドレス	種別	有効/無効
編集		To	無効

通知先アドレスを以下の形式で指定し、種別に「WebHook」を選択して、[OK]をクリックします。

Menu > 標準通知先 > 標準通知先詳細 > オンデマンド通知先設定

OK 削除 Cancel

通知先アドレス	
種別	WebHook ▼
有効にする	☒
備考	

Microsoft Teams へ通知する場合、以下の形式で通知先アドレスを指定します。

teams.url

Microsoft Teams の通知先アドレスは、以下の要素をピリオドで結合します。

要素	指定内容	備考
teams	固定文字 teams	
url	Workflows のフローでクリップボードにコピーした URL	

url には https://<環境 ID>.environment.api.powerplatform.com:443/powerautomate/automations/direct/workflows/ から始まるアドレスのみが登録できます。

これ以外のアドレスに関してはサポートしておりませんので、ご了承下さい

- (3) 既存の Incoming Webhook を利用した Microsoft Teams 連携設定の削除
 <メインメニュー/監視設定/ノード一覧>の[標準通知先]をクリックします。

オーナー基本設定	エラー判定条件	カスタム監視	抑止条件	通知振分条件	標準通知先	電話通知先	監視照会
----------	---------	--------	------	--------	--------------	-------	------

Menu > ノード一覧

ノードCD(前方一致) 検索

ノードCD	ノード名	種類	スケーリング制御
WS1	Windowsサーバ1号機	 Windows (Amazon EC2)	☐

Microsoft Teams 連携設定している[標準通知先コード]をクリックします。

Menu > ノード一覧 > 標準通知先一覧

追加

コード	通知先名	有効/無効
<u>_DEFAULT</u>	Default Mail Address	有効

Microsoft Teams 連携設定している通知先アドレスを変更するため、[編集]をクリックします。

Menu > 標準通知先 > 標準通知先詳細

標準通知先コード	_DEFAULT				
標準通知先名	Default Mail Address				
有効/無効	有効				

ユーザ通知先

	ユーザCD	ユーザ名	メールアドレス	種別	有効/無効	メッセージ通知電
編集				To	有効	有効
編集				To	有効	有効

オンデマンド通知先

	通知先アドレス	種別	有効/無効
編集		To	無効
編集		WebHook	有効

Incoming Webhook か Workflows の設定であるかは通知先アドレスで判断してください。

設定	判断内容
Incoming Webhook	url が https://<TenantName>.webhook.office.com/webhookb2/ から始まるアドレス
Workflows	url が https://<環境 ID>.environment.api.powerplatform.com:443/powerautomate/automations/direct/workflows/ から始まるアドレス

[削除]をクリックします

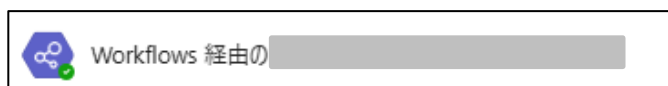
Menu > 標準通知先 > 標準通知先詳細 > オンデマンド通知先設定

OK **削除** Cancel

通知先アドレス	
種別	WebHook ▼
有効にする	☒
備考	

3. 制限事項

Workflows では、差出人が「Workflows 経由の[フローの作成者]」で表示されます。



そのため、[フローの作成者]に個人名を表示したくない場合、Microsoft Entra ID にて、通知用のユーザーを作成し、そのユーザーで Workflows のフローを作成することで、作成したユーザーの[表示名]が[フローの作成者]に表示されるようになります。

